



臨床検査技師20年。医療現場の経験を活かし、ひと・まち元気にします!



医療現場で学んだ命と健康の大切さ。

だからこそ、一人の声、小さな声も大切に! 命を守る! 暮らしを守る!
そのために、どんな困難な課題にも挑戦し続けます。

- 昭和42年東京都生まれ ● 世田谷区砧中学校卒業、都立新宿高校卒業、杏林大学卒業
- 臨床検査技師として東京女子医科大学病院20年勤務 ● 玉川在住
- 区議会での所属：文教常任委員会・公共交通機関対策等特別委員会・国民健康保険運営協議会

がんを知り、がんと上手に向き合い、 がんになっても自分らしく暮らせる町、世田谷区

2015年4月に「世田谷区がん対策推進条例」を制定。公明党世田谷区議団により、条例制定が実現しました。
条例制定は、がん対策を確実に進める起爆剤となります。条例により、様々な検診や相談体制が益々充実しております。

がん検診を積極的に受けてください!

がんを早く見つけ、早く治療することで **命を守る** ことができます。

福たえが議会で提案しました。

若年がん患者に対する支援を!!



国の指針に沿った検診

検診名	対象年齢	自己負担額
胃がん	40歳以上(毎年)	1,000円
大腸がん	40歳以上(毎年)	200円
	75歳以上	200円
肺がん	40歳以上(毎年)	X線のみ 100円 X線+喀痰検査 600円
子宮がん	女性 20~39歳(毎年)	800円
	40歳以上の偶数年齢	1,000円
乳がん	女性 40歳以上の偶数年齢	1,000円

区の独自事業として実施している検診

検診名	対象年齢	自己負担額
前立腺がん	男性 60歳、65歳(60未受診者)	600円
口腔がん	口腔がん 61、66、71歳	700円
胃がんリスク(A・B・C)検査	40、45、50、60、70歳	800円

福たえ 若年がん患者(15歳前後~30歳前後)は、この世代特有な悩みを抱えております。この世代には公的支援が薄く、経済的負担、肉体的・精神的苦痛がのしかかっています。介護保険に該当しない若年がん患者に対する支援をし、様々な負担を軽減する必要があります。

担当者 現在は若年がん患者に特化した支援は行っておりませんが、今後はターミナルケア支援とともに包括的に検討してまいります。



29年度のがん対策

私たちの提案で、がん対策が確実に進んでいます。
29年度から、更に「がん対策」が充実します。

- 胃がん検診の充実
 - ・内視鏡検査の新規導入
 - ・X線検査の実施
 - ・胃がんリスク(ABC)検査の実施
- がんに関する教育の推進
 - ・区立中学校におけるがんに関する講和の実施
- がん相談体制の充実
 - ・就労相の拡充(社会保険労務士による就労相談回数の増)
 - ・面接相談
 - ・電話相談

皆様のご意見・ご要望を
公明党世田谷区議団まで
お寄せください

公明党世田谷区議団

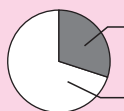
〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL: 03-5432-2788 FAX: 03-3413-7233
URL: <http://komei-setagaya.org/>

万一の災害から
命を守りたい！



災害時に支援が必要な方は区内に8433名。
そのうち支援の準備が整っている方は
約30%の2542名。

避難行動要支援者の支援実態



支援の準備が整っている方
30.1% (2542名)
支援の準備が整っていない方
69.9% (5891名)
(平成28年2月現在)

災害時に避難行動要支援者（自力で避難することが困難な要介護者、高齢者、障がい者）への支援対策がうまく進んでおらず、いまだ約70%もの人々の支援が明確になっていません。災害はいつ起きるかわかりません。一刻も早く、支援対策を整える必要があります。

そのために、私は問題解決の糸口を探り、議会で提案し続けています。

今後世田谷区では、支援に必要な情報を一元管理、支援の実効性を高めるための「世田谷区災害時要援護者避難支援プラン」の改訂、避難支援を策定・実施する専門部隊の設置などの対策によって、100%の支援を目指します。（平成28年第1・3回定例会で提案）

ご存知ですか？

多摩川氾濫時は、地震などの災害時の避難場所と異なる地域があります。

それは、多摩川に隣接している地域。多摩川と並行している国分寺崖線は多摩川氾濫時には避難する方向になっていますが、土砂災害警戒区域が集中しているため、安全な避難経路を選ぶことが大切です。

現在、世田谷区には「洪水ハザードマップ」と「土砂災害ハザードマップ」の二つに分かれているため、一つにまとめることを提案しました。これにより、多摩川氾濫時の災害や土砂災害など複数災害から身を守る避難経路が一目で分かるようになります。平成29年度に作成予定です。



現在の洪水ハザードマップ



現在の土砂災害ハザードマップ

洪水時、自分の家や避難所が水に浸かるのか？
どうやって、安全な場所に移動すれば良いのか？

日頃よりハザードマップを確認しておくことが大切。災害時は、時間が勝負です。自分で身を守る対策をお願いいたします。（平成28年第4回定例会で提案）

子どもたちの生活を守りたい！

どの子もみんな地域の学校に通い、地域の人々に見守られながら仲良く暮らせる、そんな世田谷区を目指して

障がいを持っている子、なかなか学校生活に馴染めない子、医療的ケアが必要な子、支援が必要な子もそうでない子も、互いに他者を理解し共に学び、共に生きる。そんな教育環境を作っていくために、世田谷区では平成28年4月より全小学校に特別支援教室を整備し、すべての教員が「インクルーシブ教育」に取り組み始めています。

現在、管理職、特別支援教育コーディネーター、特別支援学級の担当教員への研修等を通して、教員との情報共有をしています。今後は平成33年の新教育センター開設に向けて、さらに取り組みを強化していきます。

(平成28年第3回定例会で提案)

インクルーシブ教育とは

子どもたちの人間の多様性を尊重する心を育み、一人ひとりが自分の個性を生かして社会参加していくことを目的として、障がいのある者と障がいのない者が可能な限り共に学ぶ教育環境のこと。



活動日記 地域を歩き、みなさんの声をお聞きし、政策に反映させています。

平成28年8月

せたがやふるさと区民「ヘルプマーク」を見かけたら、少しの配慮や援助でも嬉しいです。



8月22日

避難準備情報が発表され、区内に避難所が開設。私は、避難所を回りながら地域の状況を確認しました。



11月

桜丘中学校、桜丘小学校、笹原小学校のさくらの学び舎において、インクルーシブ教育の研究発表会が開催されました。全ての子どもが学びやすい環境がつけられるよう応援していきます。



12月

水害対策を学びに鬼怒川決壊で被害を受けた常総市を視察。



12月

区政報告会で活動報告をしました。



平成29年2月

二子玉川で街頭演説



実現させることができました！

胃がんリスク検査の実施

ピロリ菌感染の有無やどれぐらい胃がんのリスクがあるのかがわかります。（平成28年度より）



胃カメラによる胃がん検診の実施

胃カメラを使用することによって、胃の中の小さな異常を発見することができます。

(平成29年度より)



私を見かけたら、「福たえ！」
「福たえさん」「福たえちゃん」と
声を掛けていただけたら幸いです。

〈発行者〉福田たえみ

〒154-0017 世田谷区世田谷4-7-33-1F

TEL & FAX : 03-5797-9825

E-mail : taemi@sunny.oc.ne.jp URL : http://fukuda-taemi.com/